

健心会が発行する地域の医療情報誌

すこやか



特集 02-03

消化器科

04 地域医療連携
近隣医院紹介

05 神戸ほくと病院の取組
インフルエンザ・感染性胃腸炎対策

06 施設紹介
在宅ほくと

07 施設紹介
シルバースティあじさい

特集 消化器科



消化器内科部長 生方 聡史

日本内科学会認定医／日本消化器病学会専門医／
日本消化器内視鏡学会専門医／日本消化管学会専門医／日本大腸肛門病学会

内視鏡センター長 小山 晋太郎

日本内科学会認定医／日本消化器病学会専門医／
日本消化器内視鏡学会専門医

副院長 今西 築

日本外科学会専門医・指導医／日本消化器外科学会専門医・指導医／
日本がん治療認定機構 がん治療認定医／日本内視鏡外科学会 技術認定医

科学技術の進歩とともに医療も変革を遂げてきました。一昔前は内科系、外科系と大雑把な区分けでしたが、知識や技術を追求する過程で専門分野が大変細かく分かれてきました。近年、専門分野以外はどうも…という風潮があります。当院では、病気を診るのではなく、病気を持つ人を全人的に診させていただく事が何より大切だと考えております。得意な専門分野を持った上で全人的診療を行うことが地域の皆様の健康管理に役立てると信じて、今後も努力して行きたいと思えます。数ある専門分野の中で、最近実績が伸びている消化器科の特集をいたしました。 医療法人社団健心会 理事長 小山 治

内科と外科の違い

●消化器内科と外科の領域がどう違うかについて両先生にお聞きします。

小山医師：基本的な診療対象疾患は同じですが、内科と外科の大きな違いはお腹を切れるか切れないかだと思います。例えば胃がん・大腸がんは現在では早期の発見であれば内視鏡カメラを使い治療を行うことが出来ます。一方、内視鏡切除で完治が得られないと判断した場合は外科の手術での治療をお願いします。どちらが適応かまず検査するのは、主に内科が担当しています。一般的な消化器症状での治療は内科、外科どちらでも可能です。それに加え、内科では胃カメラ、大腸カメラ等での「検査」を担当しています。そのまま胃カメラ、大腸カメラでの治療が可能な場合は内科が治療を行い、手術が必要と判断された場合に外科が担当するという流れになります。

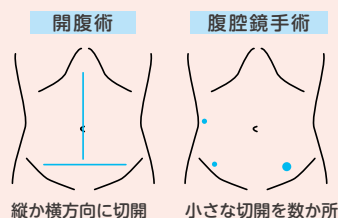
負担の少ない「低侵襲手術」

●外科といえば手術というイメージがあります。体に負担の少ない「低侵襲手術」について、神戸ほくと病院としてはどのような対応をしているのでしょうか。

今西医師：消化器の疾患に対しての低侵襲手術とは主に腹腔鏡手術のことを指すと思いますが、従来の開腹手術と比べて手術後の痛みが少なく回復も早いので、入院期間も短くてすむことから腹部の多くの手術で腹腔鏡手術の割合が増加してきています。最も早くから行われている胆石の手術は80%以上が腹腔鏡手術になっていますが、最近では大腸癌手術なども全国的にみて半数以上が腹腔鏡手術になっているなど特別な手術ではなくなっています。また鼠径ヘルニアなども消化器外科領域の手術に含まれるのですが、患者さんが非常に楽で手術後の運動制限もないので社会復帰が早くなるなどから、急速に腹腔鏡手術の割合が増加してきています。神戸ほくと病

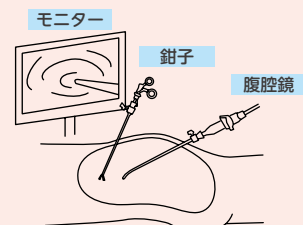
低侵襲手術

低侵襲手術とは、からだに負担の少ない、患者さんに優しい手術のことです。皮膚の切る範囲を減らし、出血を減少させ、手術時間を短縮することで、低侵襲手術を実現させます。



腹腔鏡手術

「腹腔鏡」というカメラを体表皮膚よりおなかの中へ挿入して、モニターでおなかの中を見ながら行う手術のことです。開腹術と比べ、小さな創で済むため、術後の負担が少ないことと回復が早いことが長所です。



神戸ほくと病院における低侵襲手術（腹腔鏡手術）



今西医師による実際の低侵襲手術（腹腔鏡手術）の様子。腹部にカメラを挿入し、モニターで確認しながら手術を行います。神戸ほくと病院では胆石やヘルニアの手術が多いですが、胃・大腸などの手術も術者として多数経験しています。患者さんのニーズに合わせて消化器疾患の腹腔鏡手術を充実させてゆきたいと思います。



神戸ほくと病院には3つの手術室があります



今回の手術は第3手術室で行われました

院でもこれらの手術はすでに行っていて、患者さんには満足していただいています。

●患者さんが診察時に「あっ、外科ですね」と云われたらドキッとするという話を聞いたことがありますが。

小山医師：今まで当病院は外科の先生が消化器科を担当していたのでそう思われることがあったようですが、先にも述べましたが一般的な消化器症状での外来治療は大きくは内科、外科で違いはありません。急性胆嚢炎、腸閉塞、虫垂炎など手術を要する場合は外科としての対応になります。内科特有の疾患としては潰瘍性大腸炎、クローン病等の炎症性腸疾患があります。

生方医師：クローン病（口から肛門までの消化管に慢性的な炎症が起こる病気）は日本全体で言えば最近増えて来ている病気です。いろんな治療法がありますが血球除去療法といわれる透析センターと協力した治療法があります。当病院は透析設備があるので対応可能となっています。

未来について

●医師になってみて、そして今後の抱負は？

生方医師：永年やってきましたが、医者になってよかったと思っています。やりがいを感じています。教科書にはこう書いているが実際に診察してみると臨床ではなかなかそういう具合にはいかないことが多くあり、常に学

ばなければいけないですね。でも内視鏡は好きで、消化器内科を選んだのは良かったと思っています。

今西医師：腹腔鏡手術は保険収載された頃から携わっていて多くの症例を経験していますが、それ以前に開腹手術も数多く経験し両方の長所や短所はよく分かっていますので、患者さんにとっての最適な治療を考えていきたいと思っています。低侵襲であることのメリットは大きいので今後も腹腔鏡手術が主流になってゆくと思いますが、手術機器や手術手技などの進歩が著しいので、経験を生かすためにも今後も研鑽を積んでゆきたいと思っています。

●これからの神戸ほくと病院について

小山医師：外科の先生（今西先生）が常勤として来ていただき、神戸大学外科とも連携を強くしています。消化器系の疾患としては当病院で完結できる治療を確立していくことを目指します。そして地域に貢献出来るよう努力していくのを使命と考えています。高齢化社会なので、なるべく低侵襲な治療が今後メインになってきますし日々進歩もしてきています。内視鏡治療も、腹腔鏡手術も、神戸ほくと病院で出来ることを知っていただき消化器症状で困った時には神戸ほくと病院に行けば安心とっていただける様な、消化器科を作りたいと思います。



地域医療連携

地域の皆様に安心して心のこもった医療と介護を提供するため地域医療連携を推進しています。

近隣医院の紹介

石田内科医院

診療科目 糖尿病・脂質代謝内科、呼吸器内科、総合内科

☎078-582-2345 〒651-1233 兵庫県神戸市北区日の峰 1-15-1

神戸北町に平成8年に開業した内科専門医院です。開業前は神戸大学医学部附属病院、国立がんセンター、兵庫県立がんセンターにて臨床研修ならびに研究をしてまいりました。総合内科専門医として内科全般にわたる診療をおこなっています。生活習慣病なかでも糖尿病に関しては、糖尿病学会専門医として診断から治療に至るまで専門的な診療をおこなっております。「石田内科医院糖尿病友の会」にて、糖尿病教室を開催し、糖尿病の最新の治療、治験を患者さんと共有しております。地域の基幹病院との密な病診連携を通じて、この地域の医療レベルが、日本一になることを夢見ています。



院長 石田 芳彦先生



◎神戸ほくと病院に期待すること…

消化管内視鏡検査（胃、小腸、大腸）、MRI 検査などで連携しております。急な検査依頼をすることもありますが、いつも早く引き受けていただいております。公的な基幹病院と併せ、地域の核となる民間病院として、頑張ってくださいたく思います。

[JCHO神戸中央病院]と[こやまクリニック]の病診連携

JCHO神戸中央病院から循環器内科専門医を派遣していただきます

当院設立以来、循環器疾患の診療に取り組んできました。患者様に最善の医療を受けていただく為に、神戸大学病院、中央市民病院、神戸労災病院、JCHO神戸中央病院などの基幹病院と連携しております。当院では小山が循環器内科専門医として診療をしておりますが、このたび北区の基幹病院であるJCHO神戸中央病院より2人の専門医を派遣いただき、更に迅速な連携が可能となりましたので、紹介させていただきます。

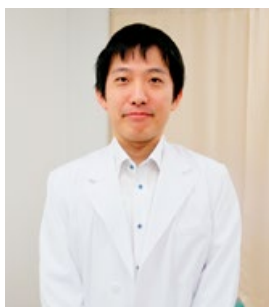


JCHO神戸中央病院(地域医療機能推進機構神戸中央病院)

☎078-594-2211

〒651-1145 神戸市北区惣山町2丁目1番1

派遣していただく専門医のご紹介

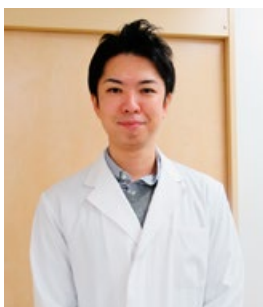


下田 義晃 先生

Q 1. 出身大学
京都府立医科大学

Q 2. 趣味・特技
ソフトテニス、
子どもと遊ぶこと

Q 3. これからの抱負
循環器内科を専門としております。心臓でご心配な方はご相談下さい。



馬崎 徹 先生

Q 1. 出身大学
九州大学医学部

Q 2. 趣味・特技
バスケットボール

Q 3. これからの抱負
JCHO 神戸中央病院と連携して北区の地域医療に貢献させていただきます。心臓のことなら何でもご相談下さい。

インフルエンザ・感染性胃腸炎対策



毎年、神戸ほくと病院では冬のインフルエンザ・感染性胃腸炎対策を実施しています。流行期に入る11月1日よりご家族、面会者の病院入り口での

①健康チェックのアンケートの記入、②マスクの着用、③流水による手洗い

をお願いしています。また、この時期、病室での面会は中学生以下はお断りしています。ただし、病棟のデイルーム（面会室）での面会は中学生以下でも可能です。



健康チェックのアンケートの記入

健康チェックはご家族、面会者にインフルエンザや感染性胃腸炎の症状があるか、同居家族に症状があったかどうかの記入をお願いしています。最初は面倒がられた時期がありましたが、最近は皆さん患者さまの安心安全のために必要なこととご理解を得て、記入いただいています。次にマスクは持参のない方が多いですが、感染対策上重要な意味がありますので、一つずつ渡しています。



流水による手洗い

手洗いはインフルエンザであれば擦式アルコール製剤で対応できますが、感染性胃腸炎のノロウイルスには十分な効果がありません。そこで流水と液体石けんによる手洗いをお願いしています。流水は1年を通して温水で手洗いができるように整備しています。



① こすり合わせる



② 甲を洗う



③ 爪を洗う



④ 指の腹を洗う



⑤ 親指の付け根を洗う



⑥ 手首を洗う



病院の出入り口が一般用に一か所しかありませんので、人の流れをコントロールし易いのが特徴です。職員通用口が一か所ありますが、ご家族、面会者の利用はありません。一般用入り口では受付を必ず横切りますので、素通りはありません。

面会制限は神戸市でのインフルエンザが警報レベルや地域での流行レベルが上がった場合は家族のみに制限し、職員も毎日部署内での健康チェックを行います。また、病棟内の複数病室で発症があった場合はその病棟では面会できない対応を事前にマニュアル化しています。

地域病院が集まり感染対策の連携を行う場で、神戸ほくと病院は厳重な入り口での水際作戦を取っていると称賛されています。

施設紹介 在宅ほくと

神戸ほくと病院グループの全面協力で医療・介護面をトータルにサポート。
訪問看護ステーションと訪問介護ステーションが、24時間体制で入居者様の生活をサポートしています。
(下記の料金は目安です。別途おむつ代やタオルリース代がかかる場合があります。)

ご利用までのイメージ お問い合わせ → 入居相談・施設案内 → お申し込み・入居

ケアホームほくと（サービス付き高齢者向け住宅）

対象者：要介護認定者（医療度の高い方可） 戸数：54戸（全個室）
料 金：[月額] 家賃＋諸経費 合計147,572円（税抜）＋介護サービス費等
住 所：神戸市北区山田町下谷上字門口 12-26

毎月ボランティアの方に来ていただき、フルーツやバイオリンに合わせて歌を歌うなどミニコンサートを開催しています。また、四季折々の行事食があり大変好評をいただいております。



ケアホームほくとⅡ（サービス付き高齢者向け住宅）

対象者：自立から要介護認定者（医療度の高い方は要相談） 戸数：58戸（全個室）
料 金：[月額] 家賃＋諸経費 合計156,500円（税抜）＋介護サービス費等
住 所：神戸市北区山田町下谷上梅木谷 28-2

H 28年 12月 1日に開設し 1年が経ちました。こやまクリニックやローソンが近くこやまクリニックの巡回バスがご利用いただけるため、買物や外出に大変便利で好評をいただいております。

こやまクリニックへの通院介助、週に1回の歯科往診、月1回の理美容など、日常生活の中での「安心・便利」の充実に取り組んでおります。
明るく元気なスタッフが皆様の体調面・生活面をサポートいたします。



シニアホームほくと（住宅型有料老人ホーム）

対象者：要介護認定者（医療度の高い方可） 戸数：104戸
居室数：個室 36部屋、2人居室 2部屋、4人居室 16部屋
料 金：[月額] 家賃＋諸経費 合計 99,500円～ 133,500円（税抜）
＋介護サービス費等

住 所：神戸市北区山田町下谷上字門口 10-3（北都病院跡）

昨年の敬老のお祝いでは、目の前で職人が握ったお寿司を入居者の方に食べていただき大変喜ばれました。また、週1回カラオケとコーヒーの提供を行っております。



訪問診療のご案内

在宅ほくと・こやまクリニック 在宅診療所 所長 安藤 美和



ご高齢者の増加、価値観の多様化に伴い、病気をもちつつも可能な限り住み慣れた場所で自分らしく過ごす「生活の質」を重視する医療が求められています。

当院では通院が困難になった患者さんのために、医師がご自宅に訪問し診療を行う、訪問診療を行っております。患者さんやご家族のお話を伺い、患者さんの健康状態を医師が診察し、薬の処方や処置を行います。

ケアマネージャー、訪問看護師、理学療法士、作業療法士、ヘルパー、薬剤師、行政機関、その他患者さんと関係のある多くの方と協力して、患者さん一人一人に合ったオーダーメイドの医療を提供して参りたいと思います。

患者様が一人で医療機関を受診するのが困難な場合、在宅医療を受けられる可能性があります。一度お気軽にご相談ください。



介護老人保健施設
シルバースティ **あじさい**

■ ご利用いただける方

介護保険制度により要支援及び要介護状態と認定された方がご利用いただけます。

特に自宅での生活が困難となった方、日常生活での活動量を増やしたい方を対象にリハビリを行い、ご本人様やご家族様の要望に応じた自宅での生活をサポートする施設です。当施設では入所、ショートステイ、通所リハビリ（デイケア）のサービスを行っています。



■ 「入所」とは

要介護認定を受けている方が対象となります。3ヶ月を目処にあじさいで生活しながら、毎日リハビリを行います。身体面と認知面の両方のリハビリを実施し、在宅生活をより快適に過ごす事を目標に支援しています。

また、退所に向けて専門のスタッフが訪問等を行います。その方に合った在宅ケアをご提案します。

■ 「ショートステイ」とは

要支援及び要介護の認定を受けている方が対象となります。

ご家族様のご都合により自宅で過ごせない方（1ヶ月以内）、短期間で集中して体を動かしたい方に泊まりながらリハビリを行ってもらうサービスです。

■ 通所リハビリ(デイケア)とは

要支援及び要介護の認定を受けている方が対象となります。

自宅では生活出来ているものの、日常生活において介助を要したり、出来なくなった動作を再度獲得するためにリハビリを行います。また、退院後の自宅生活をより良くする為や予防的に利用することが出来ます。



職員インタビュー

管理栄養士 吉田 香奈さん

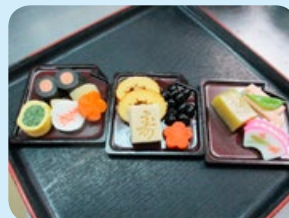


Q1. あじさいの食事で気をつけている事は何ですか？

A. 安全で美味しい食事を提供する為に衛生管理を行い、利用者様の健康状態を考慮した食事を提供できるように気をつけています。

Q2. 行事食にはどのようなものがありますか？

A. 1月⇒お正月、2月⇒節分、3月⇒ひなまつり、5月⇒端午の節句・あじさい祭り、7月⇒七夕、8月⇒夏祭り、9月⇒敬老の日、11月⇒創立記念日、12月⇒クリスマス
行事食以外にも、土用の丑（うなぎ）など季節に応じた食材を提供しています。



Q3. 今年のお正月のメニューは？

A. 1月1日～3日までの朝食はお雑煮とお正月食材の盛り合わせ、1日の昼食はお弁当箱に赤飯と真鯛の塩焼きなどを提供しました。その他にもカニちらしやすき焼きのメニューを提供しました。



i 神戸ほくと病院で映画「がんとモ」のロケが行われました。

今回、垂水映画劇団の映画撮影に協力させていただきました。撮影も順調に進み完成が待ち遠しく思います。初めての試写会は当院で開催していただきます。カンヌ国際映画祭での成功を職員一同祈念しています。



映画「がんとモ」について

癌を扱った映画の多くは、亡くなるまでの残り時間をいかに過ごしていくかをテーマに描かれています。しかし、現実の癌患者というのは、けっして、全てがそれだけではありません。いかに癌と共存し、日常生活を営んでいくか、また、癌になったからこそ得られる生きる事の可能性、そして、誤解を恐れずに表現すれば、希望。

垂水映画劇団には、その癌を経験したメンバーがいます。そのメンバーの実体験を元に、より実態に近い、これまであまり描かれてこなかった部分にスポットを当てた作品を作りたいと思いました。その際、大きな問題になったのはロケ地の選定です。より実態に即した状況を描かなければ、説得力が欠けてしまいます。また、できる限り地元神戸で撮影したい、という思いもありました。そこで、今回、神戸ほくと病院様に、ロケ地としてご協力していただけることになり、今まで以上にリアリティのある撮影を行うことが出来ました。映画「がんとモ」は、まず、第71回カンヌ国際映画祭での上映を目指して、現在、製作を進めています。



垂水映画劇団代表 八十川 勝

i 健心会グループ大忘年会

「1年とは早いもの」…師走になると毎年よく聞く言葉です。今年も健心会グループの大忘年会がANA クラウンプラザホテルで盛大に開催されました。今年は1部では小山理事長による健心会の歴史と今後の取組みを大画面にて説明されました。2部では各施設の発表があり、ゲームがあり、カラオケがありと今年も大盛り上がりでした。準備委員のみなさまありがとうございました。



編集後記

手元の「すこやか第1号」は2001年4月に発行。A3両面二つ折りの4ページの紙面に、理事長をはじめ若かりしスタッフの写真が多数掲載されております。結婚されお名前が変わったかたや、髪型(色・量)の変化など、月日の流れを感じます。驚くべくは今なおグループ内で大活躍されている方ばかり。長く勤められる組織風土の良さを感じました。

歴史のある広報誌「すこやか」ですが、この45号で大幅にリニューアルいたしました。情報発信と連携をテーマに4頁から8頁に紙面を拡充。各部門から派遣された、精鋭編集部員と、各施設の皆様の尽力で無事発刊することができました。次号からも連携を大事にし、情報発信し続けたいと思いますので、宜しくお願いします。



医療法人社団 健心会 <http://www.hokuto-hp.or.jp/>

神戸ほくと病院 TEL(078)583-1771
<http://www.hokuto-hp.or.jp/hokuto/>



●透析センター ●脊椎センター ●内視鏡センター

こやまクリニック TEL(078)581-1123
<http://www.hmk-clinic.com/>

- 内科／総合内科 ●消化器内科 ●循環器内科 ●消化器外科
- 肛門外科 ●外科 ●整形外科 ●形成外科／美容外科
- 泌尿器科 ●眼科 ●皮膚科 ●心療内科
- ペインクリニック内科 ●リハビリテーション科

[受付時間]

- 月水金 9時～12時 / 14時～19時
- 火 9時～12時 / 15時～19時
- 土日 9時～12時



木曜日・祝日は休診させていただきますが、患者さんのご容体・その他の事情によっては、時間外や休日でも協力機関である神戸ほくと病院で診察させていただきます。

●**シルバーステイ あじさい** TEL(078)583-2223
<http://www.hokuto-hp.or.jp/ajisai/>

●**総合連携本部 つながり** TEL(078)586-5066



- 神戸電鉄「山の街」駅より徒歩15分 ●三ノ宮から新神戸トンネル経由 車で17分
- 阪神高速神戸線箕谷インターから車で5分

在宅ほくと <http://www.hokuto-hp.or.jp/zaitakubu/>

- 居宅介護支援事業所 ほくと TEL(078)583-0440
- 谷上あんしんすこやかセンター TEL(078)583-2666
- ほくとヘルパーステーション TEL(078)582-5589
- ほくと訪問リハビリステーション TEL(078)583-1771
- 訪問看護ステーション"ラポール" TEL(078)582-1153